

千歳市地域公共交通計画 の改訂について

1. 公共交通計画の概要(現行計画)

計画の概要

計画期間	令和4～8年度(2022～2026)
策定	令和4年4月
概要	利便性・採算性・公共性のバランスを考慮しつつ、持続可能な公共交通を維持・確保していくための基本方針や基本目標とその実現のための取組などを示したもの。

基本方針

- 1:公共交通の**利便性・安全性を向上**させ、利用者の増加を図る
- 2:利用者の需要に合わせた**効率的・効果的な運行体系**を構築する
- 3:**誰もが多様な目的で利用しやすい**公共交通サービスを構築する
- 4:公共交通事業の存続に向けた**担い手の確保**を図る
- 5:公共交通利用促進のための**市民意識の醸成**を図る
- 6:公共交通以外の**輸送資源を活用**した交通ネットワークを構築する

取組内容

- バス路線・ダイヤの見直し
- 千歳駅前広場の再整備
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策
- バスシェルターの整備
- 運行情報配信の強化
- バス運転手の確保
- モビリティマネジメントの展開



計画期間満了のため次期計画を令和9年3月に策定

2. 昨年度の実施内容

実施目的 市民の移動ニーズや市内公共交通の利用実態について把握を行うための調査

業務内容 地域特性・人口等の現状診断

OD(乗降)調査の実施及び既存調査データとの分析・比較検証

各種運賃割引制度の利用実態調査

市民アンケート調査の実施と結果の精査

高校生アンケートの実施と結果の精査

関連調査(千歳市民まちづくりアンケート等)のデータ整理

3.路線バスの概要

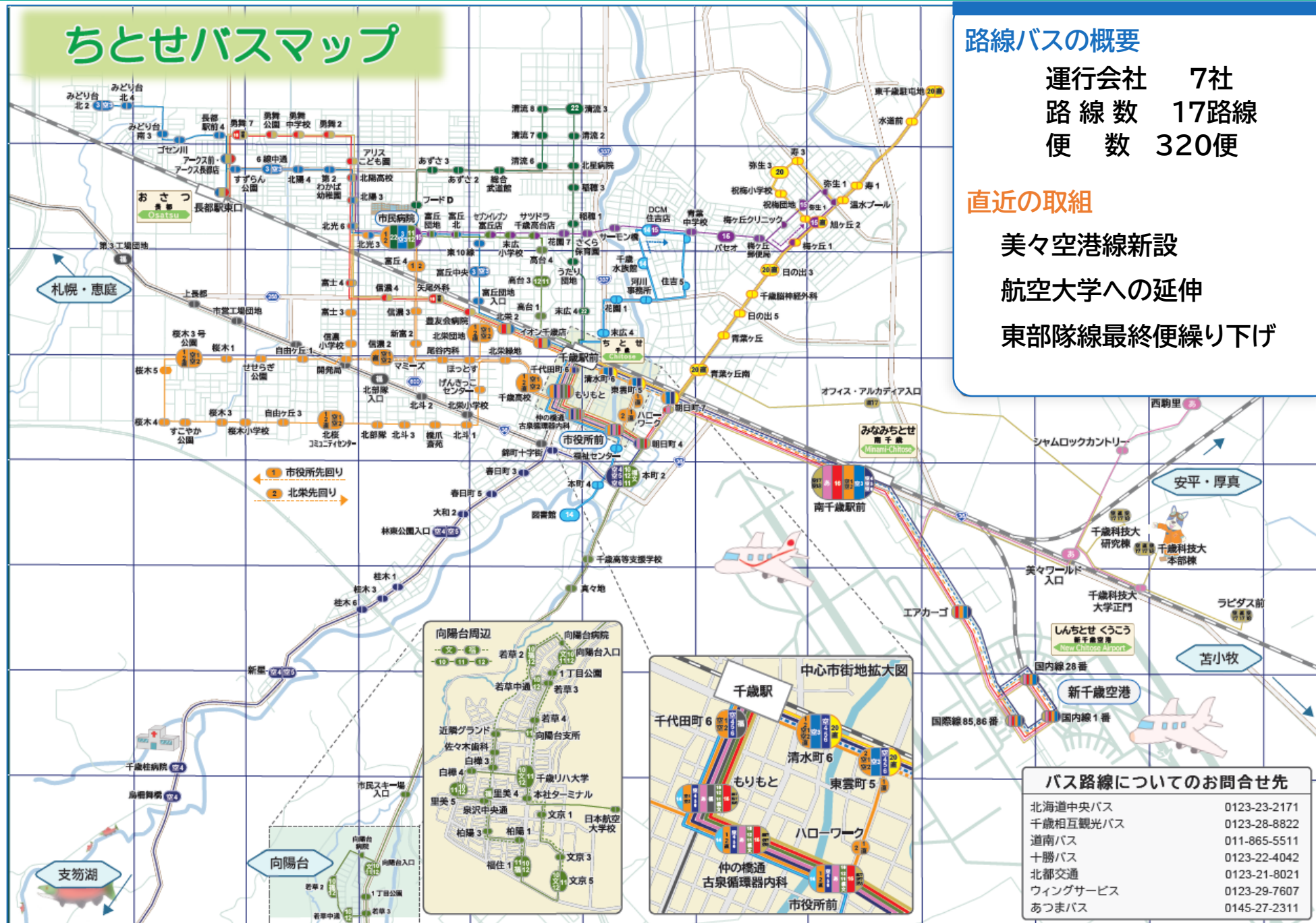
ちとせバスマップ

路線バスの概要

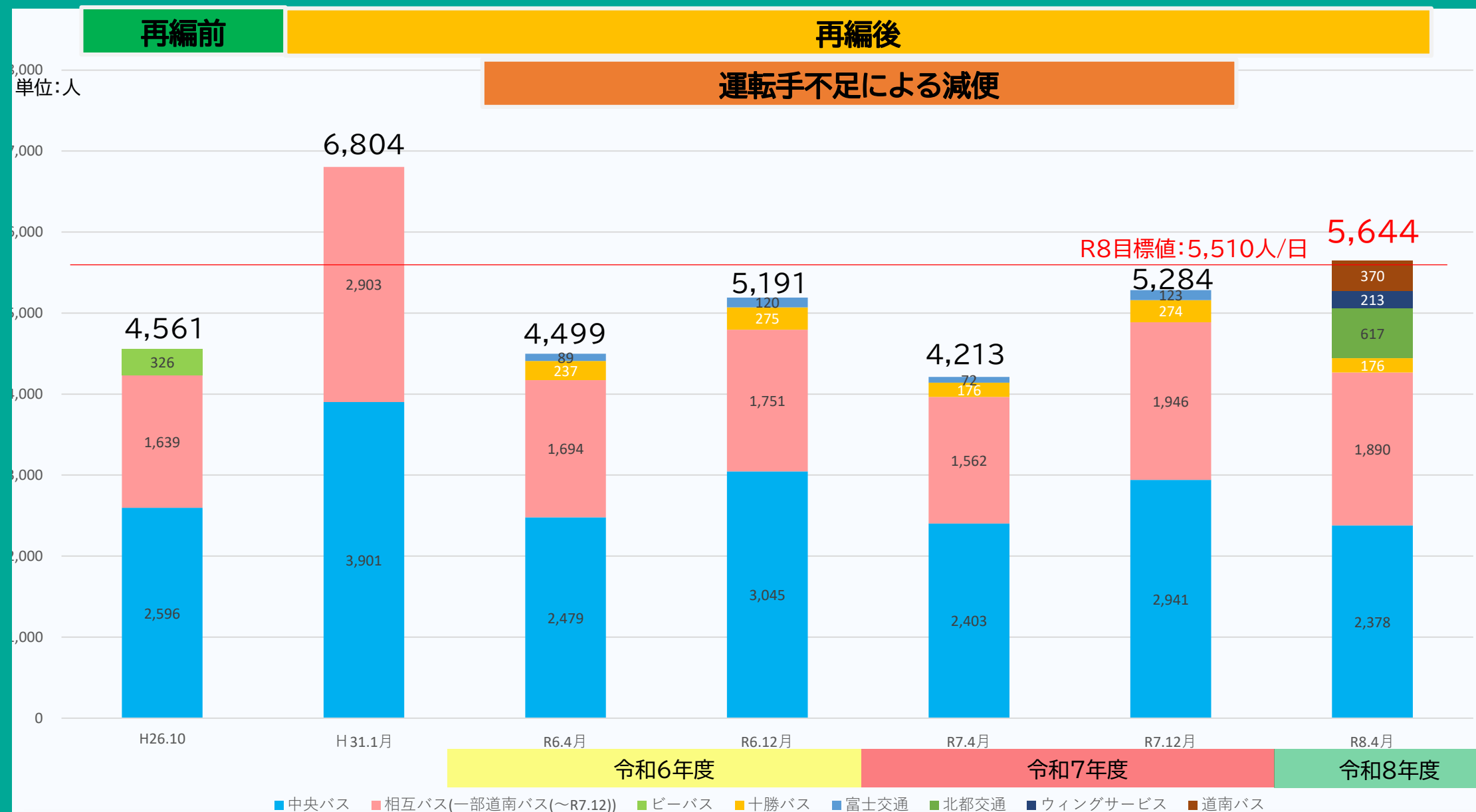
運行会社 7社
 路線数 17路線
 便数 320便

直近の取組

美々空港線新設
 航空大学への延伸
 東部隊線最終便繰り下げ



4. 路線バス利用状況



路線バスの利用状況

路線バスの利用者は、新型コロナウイルスや、運転手の高齢化による減便の影響を受けつつも、回復傾向にある。

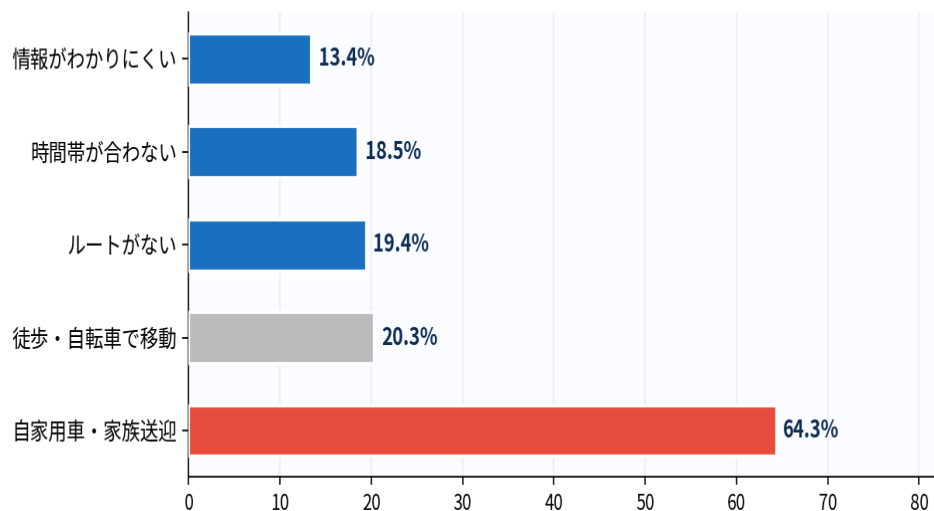
5. 市民アンケート調査の結果

市民アンケート

有効回答 948件

🚗 バスを使わない理由(市民)

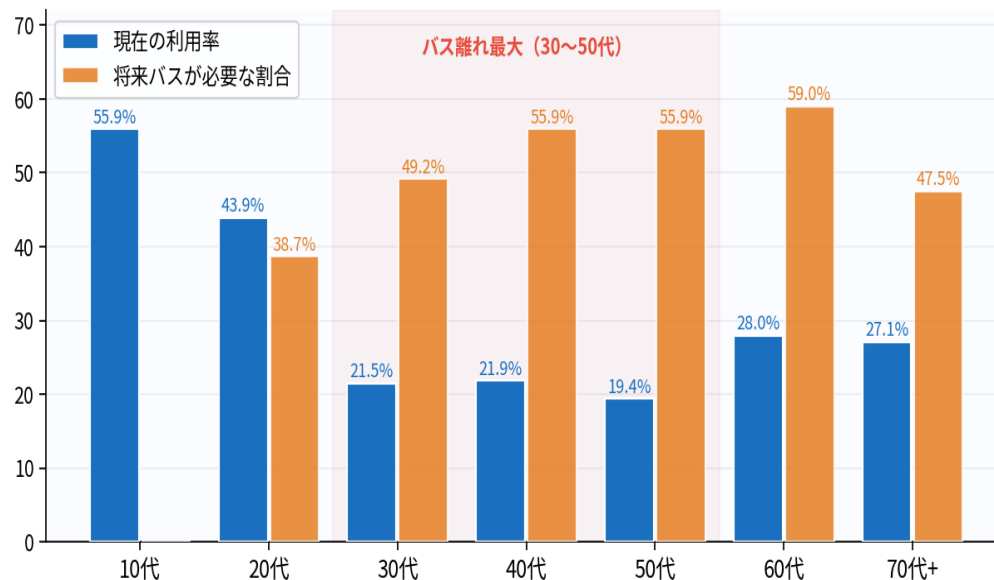
バスを使わない理由 (市民アンケート n=686人)



高校生アンケート

有効回答 408件

📊 年代別バス利用率と将来需要



その他意見と考察

路線構造

「経路・便数・定時性が不満」
→ 既存利用者の共通の悩み

交通DX

「タッチレス決済が欲しい」
「情報がわかりにくい」
→ **DXに対するニーズは高い**

接続性

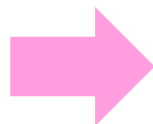
「空港まで直行で行きたい」
「駅の乗り換えがわかりにくい」
「駅の待合環境が不満」
→ 交通結節点の待合環境も重要

利用特性

主要目的地は共通で「千歳駅」
向陽台地区:バス依存度が高い
→ 基本的な特性は従前から変わらない

6. 情勢の変化

住宅地の拡大や商業施設の新設



路線に対するニーズの変化

住宅地の拡大や商業施設の立地などの
まちの変化によりニーズが変化
千歳駅の乗り換えや待合環境に不満

ラピダスの立地や
工業団地の造成、関連企業の立地



ラピダス立地によるビジネス需要の増加

企業立地によるビジネス需要の急増

コロナ禍以降における来訪者の回復



来訪者数の回復

コロナ禍以降来訪者数は回復傾向
→バス利用者の回復は鈍い

7. 現状の課題

共通課題

公共交通の利便性・安全性・持続性



路線に対するニーズの変化

まちの変化によりニーズが変化
千歳駅の乗り換えや待合環境に不満



コロナ後の需要変化

利用習慣が変化
→自家用車依存の定着



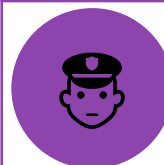
ラピダス立地によるビジネス需要の増加

企業立地によるビジネス需要の急増



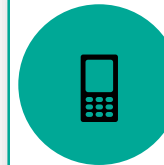
来訪者数の回復

コロナ禍以降来訪者数は回復傾向
→来訪者バス利用の回復遅れ



運転手不足の深刻化

高齢化・2024年問題による担い手不足



交通DXの進展

タッチレス決済ニーズの高まり
→事業者間で導入状況に差
自動運転の導入
→技術面・ソフト面の検討事項が多い

8. 次期計画策定のポイント(案)

基本的な考え

既存バス路線の充実を基本とし、公共交通の利便性・安全性・持続性向上と市民の利用促進を図る。



課題

市民ニーズの変化
コロナ後の需要変化
千歳駅の待合環境



ポイント案

市民の生活交通を守る

市民の目線に立ち、利用ニーズを把握したうえで、利便性と収支のバランスを考慮した既存路線の見直しを行う。



課題

ラピダス立地による
ビジネス需要の増加



ポイント案

産業都市を支える

工業団地等へのビジネス需要の路線バスへの統合を推進し、都市インフラとしての公共交通の基盤を強化する。



課題

来訪者バス利用の
回復遅れ



ポイント案

空港需要を強化

新千歳空港を有する都市として、インバウンド・ビジネス需要で収益強化し生活路線を支える。



課題

運転手不足の深刻化
交通DXの導入



ポイント案

未来につなぐ

交通DXの導入で利便性を向上させ、利用者の満足度向上と増加を図る。自動運転実証を推進し、担い手不足に先手を打つ。

9. 計画改訂スケジュール

